



第11回例会

平成18年9月20日(水)
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ロータリーソング 奉仕の理想
- 3 四つのテスト
- 4 来訪者の紹介と会長挨拶
- 5 ソフト部会からのお願い
富田健三郎
- 6 ゲストスピーチ
講師 第2530地区新世代委員会
副委員長 佐藤治良 様(喜多方)
- 7 お礼の言葉
- 8 各委員会報告
- 9 閉会点鐘



会長挨拶

齋藤 ミヨ会長



台風一過の秋晴れが、とてもすがすがしく感じました。

先週は、大野会員の永京寺におきまして、早朝例会が行われ、会員40名の出席をいただき、朝の静けさの中、大野住職さん指導のもと座禅を

いたしました。永京寺さん、S A Aの皆さん、早朝のご準備ご苦労様でした。

さて、本日は、第2530地区、新世代委員会副委員長の佐藤治良様のスピーチをいただきます。

昭和41年に国民の祝日として『敬老の日』が定められました。先日、敬老の日になみ、今年の総務省統計調査の結果が発表され、65歳以上の高齢人口20.7%と国際的にも最高水準の長寿国となりました。私も高齢者の仲間入りとなり、大手を振って、喜んでよいものやら妙な気持ちです。

今月23日は、大声杯リトルリーグマイナー大会がごさいます。“笑いは心の元気の素”と云われています。私は、笑うから楽しいのか、楽しいから笑うのか疑問に思っておりましたが、どちらも正しそうです。私達は、愉快的表情によって笑が出来ます。また、笑顔をつくることにより笑が出来ます。楽しく笑えばさらに楽しくなります。不満も相手にぶつけるかわりに笑顔でコミュニケーションがとればお互い気持ちよくなれると思います。笑いは、心の健康に大いに役立っています。こんな表現がごさいます。“大笑いして胸のつかえがとれた”“悩みを笑いとばした”等、考えている以上に心と体の健康に笑いは大きな役割を果たしていると思われま。私は、最近、このような立場なので、ストレスからか、表情は硬く、微笑むことさえままならず、申し訳なく思います。23日当日は、大声で心から笑い、大声で声援したいと思ひます。

“健康のためにも・ロータリーのためにも”

情報ステーション

智恵袋

辛いこと、悲しいことがあったらカガミの前で、声を出さずに、大きな口を開けて無理やり笑って見ましよう。

これを5回以上繰り返せば、あまりの阿呆らしさに、自然と笑ってしまうはずで。

“面白き、ことも無き世を面白く、すみなすものはこころなりけり” (高杉晋作)

新世代月間

9月は『新世代のための月間』です。

今年の地区目標の一つに「新世代の健全育成支援」が掲げられており、私たちが青少年の健全育成支援に取り組むことは、私たちの未来への投資でもあります。次世代を担う青少年に対し、私たちが今できることを考え、率先して実行していきましょう。(ガバナー月信より)

ゲストスピーカーのご紹介

新世代委員会副委員長 佐藤 誠



講師の佐藤治良様は、1961年東京工業大学をご卒業後、味の素kkに入社され、1990年に退社されてからは先輩クラブである喜多方RCに入会され、国際奉仕委員長や会長を歴任されました。第2530地区におきましては永年、青少年交換委員長を務められ、今年度からは新世代委員会の副委員長としてご活躍されておられます。

ゲストスピーチ 第2530地区新世代委員会

副委員長 佐藤 治良 様
1 青少年交換プログラムの発足と経過



青少年交換事業は1929年デンマークのコペンハーゲンロータリークラブで始まりました。

また、1972年にRI理事会は、青少年交換を有益な国際活動として、世界中のクラブに推奨することに同意し、現在80ヶ国、8000人以上の学生が参加、そして、RC会員120万人、クラブ数32000、計算すると4クラブに一人の割合で参加するまでになり、日本では受入れ、派遣を含め800人以上の学生が参加するまでになっています。

青少年交換の目的は、若者が海外でホームステイし、学校に通い、異文化を体験することにより、国際理解を深め、世界平和に貢献することにあります。

2 地区における実績と今後の見通し

第2530地区では、1968年、RI理事会の承認前に、須賀川RCがオーストラリアと交換をはじめました。その後、会津坂下、いわき平東、郡山西、相馬、いわき勿来、会津若松、喜多方、福島北、に拡大され、これまでの派遣学生数は212人です。現在の派遣先は、カナダ、アメリカ、メキシコ、フランス、ブラジルが中心となっております。今後については、区で一人義務づける等して、8名の派遣受入れを実施したいと考えております。

3 青少年交換事業参加の結果とクラブへの影響

受け入れた学生は、毎回例会でスピーチし、少しずつ日本語がうまくなっていくことがわかります。私は、7名のホストファミリーを受けていますので、海外に子どもが7人います。メール交換もしており、この子たちの結婚式に出席することが夢です。とにかく、私も妻も、楽しみが一つ増えた気持ちになっております。

4 参加した学生の満足度、周辺へおよぼす影響

個人差はありますが、多くの方は、また日本に來たいと思ひているようで、受け入れる方でも、日本

との懸け橋になってくれればと思ひているわけで、この目的は達成しているのではと思ひます。派遣適齢期のお子さんのおられる会員はチャレンジされてはいかげしょう。

リトルリーグ情報

9月23日(土) 県営あづま球場において大声杯リトルリーグマイナー大会が開催された。大会では、齋藤ミヨ会長が挨拶し、廣澤俊樹社会奉仕委員長が始球式



を行った後、参加4チームでの熱戦が行われた。

今月・来月のプログラム

- 10月4日(水) ゲストスピーチ
国土交通省福島河川国道事務所
所長 植田雅俊 氏
- 10月11日(水) ゲストスピーチ
米山奨学生 李 錦淑 さん
- 10月18日(水) 職場訪問移動例会
福島地方裁判所
- 11月15日(日) 県北一区・二区合同ゴルフ大会
(パーシモンCC)

編集担当 松崎 弘昭